

No	題名	分類・時間	内容
4	私たちと人権(家庭編)	ドラマ 26分 1989年制作	固い絆で結ばれている家族の中にも色々な物の見方や考え方、意識の違いがある。そうした身近な問題をいろいろな角度から提起し、私たちが、なぜ、このような意識や考え方にとらわれるのか、それをなくすにはどうすればよいか考えます。
5	私たちと人権(職場編)	ドラマ 29分 1990年制作	家庭編に続く作品。職場に焦点を当て、職場の一人ひとりがお互いの立場を尊重し、人権意識を高めていけば、明るく、楽しい職場になること、そのためにはどうすればよいか、私たちの意識や物の考え方について、色々な角度から問題を提起します。
6	私たちと人権(課題編)	ドラマ 30分 1993年制作	社会には部落差別をはじめ女性や障がい者、外国人などに対する様々な差別があります。これらの問題を解決するために、自分をはじめ多くの人々が深く関わっていることを自覚し、自分自身の人権意識を問い直し、自ら考え、生き方を変え、行動する必要を訴えます。
7	くらしの中にひそむ偏見	ドラマ 30分 研修マニュアル付 1987年制作	身の回りにある差別を見抜く目を養うための研修用教材で、あるサラリーマンの職場生活の一日をドラマ形式で再現し、私たちが日常どこでも出会う事柄をさりげなく紹介しています。そこでは気づいたり、気づかなかったりするような予断や偏見、あるいは差別そのものが顔を出しますが、これに解説やことさら目立つような表現はせず、研修参加者の人権感覚・・・差別に対する認識度合いを自分自身で検討することを目的にした作品です。
8	この街に生きる (くらしの中にひそむ偏見Part 2)	ドラマ 30分 研修マニュアル付 1992年制作	「くらしの中にひそむ偏見」に続く作品で研修用教材。企業の休日前日のアフター5から、休日の夜までの間の家庭生活、近隣や地域社会とのかかわりの中で生じる差別性・・・予断と偏見に目を向けると共に社会生活や、個人生活の中では表面的に見えてこないような個人の内面の悩み事や他人に知られたくない事柄なども織り込まれています。また、地球環境保護にかかわる問題や、高齢者社会、外国人問題などの事柄も織り込まれています。
9	輝ける日々へ	ドラマ (企業向) 54分 1993年制作	7年前父を失ったものの雅子は明るく成長し、高校3年生になった。希望に胸をふくらませ社会に旅立とうとしている彼女の前に差別という厚い壁が立ちはだかる。本人の能力、適正以外のことが採用基準にされたのだ。企業内同和問題研修教材としての作品です。
12	ゴミの大逆襲 -ゴミが地球をダメにする-	ドラマ (環境問題) 20分 1992年制作	ごく普通の生活をおくっている男が、警告をうけたにもかかわらず、無関心、無責任にゴミを出しつづけ、あらゆるゴミに逆襲されていきます。便利さを求め、使い捨てがあたりまえとなっている今、本当の豊かさとは何かを考える作品です。

20	わたしたちの話を聞いて！ ー子どもの権利条約ー	ドキュメンタリー 30分 1993年制作	「子どもの権利条約」を分かりやすくしかも的確に視聴覚に訴えます。大人たちのパートナーとして、平和を築き未来をつくる子どもにとり、さらに大人自身にとっても、「子どもの権利条約」がいかに大切か、じっくりと分かってきます。
26	きつねのかんちがい	アニメーション 28分 1988年制作	原作は奈良地方に伝わる民話で、同和教育読本「にんげん」小学校2年生の教材をもとに制作。貧しいが働き者で心優しい若者の「そうごろう」がキツネの勘違いに合い、村人の協力で植え終わった三反五畝の田んぼを荒らされる。その誤解を解くために野山を走り回って真実を訴え、そのかいあって、誤解の解けたキツネたちが田植えで恩返しをし、村人もキツネに対する偏見を改めるという作品です。
32	ピースビデオ・ライブラリー1 対馬丸 ーさようなら沖繩ー	アニメーション (反戦・平和) 75分 1982年制作	昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖繩の子どもたちを学童疎開させる命令を出しました。疎開船「対馬丸」は8月21日、那覇を出航し、22日夜、米軍潜水艦の魚雷攻撃を受け、多くのこどもたちが対馬丸と共に一瞬のうちに沈んでしまいます。戦争の悲劇を描いた作品です。
33	ピースビデオ・ライブラリー2 猫は生きている	人形アニメーション (反戦・平和) 75分 1985年制作	昭和20年3月10日夜、米軍のB29が東京を炎でなめつくしました。昌男の家はお母さんが妹2人を連れて外へ飛び出しましたが、既にあたりは火の海。軒下に住みついたノラ猫の家族も、母猫「稲妻」を先頭に必死の避難を始めます。空襲の凄惨さ、戦争の悲惨さを描いた作品です。
34	ピースビデオ・ライブラリー3 100ばんめのサル	アニメーション+ ドキュメンタリー (反戦・平和) 20分 1986年制作	1匹のサルが芋を洗って食べ始め、それが100匹めのサルに達した時、不思議なことに全てのサルが芋を洗って食べるようになったという話から、私たちの一人ひとりが世界平和のために大きく輪を広げて行けば、小さい力でも地球を救うことにつながることをアニメーションと核のドキュメンタリーフィルムで構成した作品です。
35	ピースビデオ・ライブラリー4 煙突屋ペロー	影絵アニメーション (反戦・平和) モノクロ23分 1930年制作(1987年復元)	トム・タム国の煙突屋ペローは、鳩を助けたお礼に「兵隊の出る卵」をもらいました。ペローは王子様の乗る汽車を壊してしまい、死刑を宣告されます。ちょうど戦争が始まり、ペローは「兵隊の出る卵」を使って手柄をたて、許されて田舎へ帰ることになりました。しかし、その帰り道ペローの見たのは痛ましい戦いの傷跡だったのです。昭和5年のアニメで、制作時の言論規制の中、正面から「反戦」というテーマに取り組んだ勇気ある作品です。当時の検閲で1/4がカットされていたため、制作者が復元した作品です。

36	ビデオ紙芝居 No.1 マリア・ルス号事件 ー人間の港ヨコハマー	紙芝居+ ドキュメンタリー 20分 1992年制作	日本が欧米諸国との不平等な条約を結ばされていた明治5年の夏、開港をまもない横浜港で、ペルー国籍のマリア・ルス号から中国人労働者が海に飛び込み、英国軍艦に助けを求める事件が発生しました。この時の日本政府は「さわらぬ神にたたりなし」の態度であった。しかし、ルス号は人買いの奴隷船であり、人道に関する問題であったため、国内外の反対、諸外国の注目の中で、外務卿の副島種臣と神奈川県令の大江卓は、敢然と介入を決定します。日本の人権のあけぼのを描いた作品です。
51	差別のない採用選考 ①採用選考の基本	討論形式 (就職差別) 30分 1991年制作	「職業選択の自由」は基本人権の一つで、憲法がすべての国民に保障しているが、これは雇用する側が正しい採用選考をし、採用後の人権管理も正しく行なう必要がある。差別のない公正な採用選考を実践していくための基本的な考え方をもつために労働省が制作した作品です。
52	差別のない採用選考 ②採用選考の実践	討論形式 (就職差別) 30分 1991年制作	「職業選択の自由」は基本人権の一つで、憲法がすべての国民に保障しているが、これは雇用する側が正しい採用選考をし、採用後の人権管理も正しく行なう必要がある。差別のない公正な採用選考を実践していくために制作した作品です。
53	AエIDズS 本当にこわいのは何か！	ドキュメンタリー (エイズ) 30分 1993年制作	人権と共生をテーマにしたエイズ教育を中・高校生向けに制作。エイズに病む友人を持つアメリカ人教師、エイズ研究の一線にいる国立予防衛生研究所の佐々木裕子さんらの同校での講座、中・高校生らが集うボランティア・サークルの動向、「エイズを考える会」の平田さんのインタビューなどが主な内容。免疫などの病理のシステムや感染経路についての説明は最小限にとどめてあり、生徒たちの率直な反応や、学ぶにつれてエイズ患者への見方が変わる様子が描かれています。
57	十六地蔵物語 ー戦争の犠牲になった 子どもたちー	アニメーション (反戦・反差別) 27分 1994年制作	太平洋戦争末期、集団疎開先のお寺で焼死した児童の悲劇を描いた実話に基づいたアニメーション作品です。疎開に付き添った当時の寮母が朝鮮人だったため、警察にことさらに責任を追及されるシーンなどもあり、子どもたちに強制連行や朝鮮の人々に対する差別についても考えさせる内容になっています。
65	広島からヒロシマへ	ドキュメンタリー (反戦・平和) 30分 1994年制作	1994年夏、日中労働者交流協会広島支部は、かつての軍部「広島」毒ガス製造工場のあった大久野島を訪れ731部隊につながる事実を検証したり、広島周辺の海上・陸上自衛隊、在日米軍の施設を巡り、平和問題について考えていこうとする作品です。
66	『子どもの権利条約』を子ども へ！ ♪ランキン・タクシーとラ ップで歌おう♪	ドキュメンタリー 30分 1994年制作	「子どもの権利条約」を子どもが知らなきゃ意味がないと、難解な条文をDJなどで若者に人気のランキン・タクシーさんが、レゲエのリズムにのせ、ラップで分かりやすく歌った作品です。

68	クレヨン の 星	アニメーション 14分13秒 1991年制作	「えらい」という価値観がなかったクレヨンの星に金の星の王子コインが「一番偉い人に会いたい」といいます。そして、コイン王子が「まじりつけないものが一番偉い。」と、言ったために仲の良かったクレヨン星で争いが起ってしまいます。大人と子どもが「人権について話し合いをするきっかけに」とつくられた幼児、低学年向けの立体アニメーション作品です。
71	私を抱いてそしてキスして	ドラマ (エイズ) 106分 1992年制作	もし自分がエイズだったら……。間違いだらけの情報でしかエイズを知らない人の中で、どのように生きていくのか？この物語は、エイズに感染したごく普通のOL・合田圭子が様々な苦悩、不安、恐怖、混乱、断絶を乗り越え、やがて一人の男性との愛、そしてルポライターとの友情を芽生えさせていく姿を描いた作品です。
79	学 校	ドラマ 129分 1993年制作	様々な環境、様々な年齢の生徒が学び、そこで教えることに情熱をそそぐ先生がいる東京・下町の夜間中学校を舞台に、「人間にとって本当の幸せとは何か」と非常に大きな、そして深い問いかけを投げかけます。世の中のひずみが印象的に現れる教育問題をとおして、日本人の良心を訴えた感動作品です。
80	黒い雨	ドラマ (反戦・反核) 123分 1989年制	人も街もすべてを焼き尽くす一瞬の閃光。青空をおおう暗雲から大粒の雨が降る……。広島に近い疎開先で黒い雨を浴びたがために人生を大きく狂わされる20歳の矢須子、祖父夫婦、そして同じように被爆した人々の住む小さな村を舞台に、日常生活を通じて核や戦争を見つめる井伏鱒二の同名小説を映画化した作品です。
81	太平洋戦争と東南アジア	ドキュメンタリー (反戦・平和) 29分 1992年制作	1941年12月8日、真珠湾攻撃の2時間前に日本軍はマレーシア半島に上陸していた……。日本はなぜ東南アジアを侵略したのか。虐殺事件で生き残った中国人や元日本兵士の証言、アメリカ側の記録フィルム等を通して太平洋戦争の真の姿を考える平和教育教材です。
82	朝鮮半島 植民地支配の実態	ドキュメンタリー (反戦・平和) 28分 1993年制作	日本の朝鮮植民地支配は、強制連行などの労働力の収奪のみならず、創氏改名などにより、民族の誇りさえも奪った。数々の証言を基に、その歴史的事実の検証と共に、在日韓国・朝鮮人への偏見と差別の根源にせまります。
83	終戦50周年記念作品 太平洋戦争と沖縄	ドキュメンタリー (反戦・平和) 35分 1995年制作	太平洋戦争下で、唯一日本で地上戦が展開された沖縄。そこで、国体護持の名のもとに、多くの住民を巻き込んだ数々の悲劇が生みだされた。この3ヶ月にわたる地獄の戦場の歴史的背景と、真実の姿を証言及び資料映像で綴る迫真のドキュメントです。
84	はだしのゲン	アニメーション (反戦・反核) 90分 1983年制作	1954年8月6日、広島での原爆体験をテーマにした劇画「はだしのゲン」は、その悲劇の街に健気に生きるゲンの姿が全国の読者の圧倒的共感を呼び、大ベストセラーになりました。この作品は、この物語を映画化したもので子どもたちに平和の尊さを訴えつづけます。

85	火の海・大阪	アニメーション (反戦・平和) 20分 1994年制作	1954年、無差別空襲によって、多くの尊い生命を失いました。二度とこのような不幸な戦争を繰り返してはならないために、平和の尊さを訴えるためのアニメーション作品です。
92	ひめゆりの塔	ドラマ (反戦・平和) 121分 1995年制作	1954年3月のある日、米軍が艦砲射撃を開始した頃卒業式を控えた生徒たちに従軍命令が下され、ひめゆり学園の女生徒239名は戦場へと駆り出されていった……。太平洋戦争中、唯一日本で地上戦が行われ、「本土の捨て石」にされた沖縄戦の悲劇を描いた反戦を考えていく作品です。
98	小学生向け教材ビデオ いじめよ、とまれ！ 一心のケガには笑いの花を一	ドラマ (いじめ) 53分 1995年制作	いじめ問題は人の命さえ奪いかねない深刻な問題です。このビデオでは、もっとも基本的な友達とのつきあいのルールをくりかえしおさえていき、自分の大切な心を守るためにも相手の大切にしているものを奪わない、攻撃しない。しっかりケンカして、ちゃっかり仲直りする勇気が大切であることを訴えます。
103	人権の歴史と現代 ① みんな地球市民 自由	歴史教材 31分 1995年制作	人権の歴史、現代、未来を学んでいくための教材(全3巻)。第1巻は、フランス人権宣言から、第2次世界大戦に至る世界と日本の人権の歴史をまとめ、中学生から成人まで、深い内容をできるだけ平易に、そして、史実に忠実に表現しています。
104	人権の歴史と現代 ② みんな地球市民差別	ドキュメンタリー 31分 1996年制作	第2巻は、「差別」をテーマに現状をできるだけリアルに伝えるために、高校での人権教育の取り組みをドキュメントで制作。学校における人権教育の実践例として、また、学校を社会の縮図としてとらえ、差別の現状や解決の道筋を学ぶことができます。
105	きけ、わだつみの声	ドラマ (反戦・平和) 130分 1995年制作	1943年10月21日、明治神宮外苑での出陣学徒壮行会一学業半ばで戦地に向かう大学生の面々たち。多くの未来ある若者たちがそれぞれの心に鍵をかけて戦場へと発って行く。あれからほぼ半世紀、その終戦50年を記念して、今一度、戦争下の若者たちの青春群像とその友情を真摯に描いた作品です。
106	月光の夏	ドラマ (反戦・平和) 111分 1995年制作	終戦間近な1945年6月。佐賀県鳥栖の国民学校を二人の若者が訪れた。彼らは出撃をひかえた特攻隊員で、音楽を愛していた。この学校にグランドピアノがあると聞き死ぬ前に一度思いっきりピアノが弾きたくて駆けつけて来た。ひとりにはベートーベンのソナタ「月光」を見事に弾き、去ったきり二度と戻らなかった……。
107	一人ぼっちの狼と7ひきの子ヤギ	アニメーション (偏見) 18分 1995年制作	人に接するとき、噂や他人の言葉から得た先入観でもってその人に接するのは正しくありません。偏見を持たず、自分自身で確かめることが大切です。この物語は7匹の小やぎとオオカミを主人公にし偏見を持たずにやさしい心で応えてくれることを訴えた作品。

108	しきじきょうしつ	ドラマ (識字教室) 54分1996年制作	開設後20年を迎え、様々な年齢や国籍の人々が通う識字教室を舞台に、学級生と講師との心の交流や生き方を通じて、今日の人権・同和問題について考える手がかりを提供しようと制作された作品です。
111	まげるな！千太 ーさよならいじめ虫ー	アニメーション (いじめ) 25分 1996年制作	ある日、同じクラスの身体の弱い女の子が、いじめグループのターゲットになります。クラスメイトは、囂立てるグループ、無視を決め込むグループに分かれ、女の子は孤立します。しばらくして、同じくクラスの昆虫好きの少年千太が、このいじめを先生に告げ口したという噂が広がり、今度は千太へのいじめが始まります。
112	くもりのち晴れ	アニメーション (いじめ) 40分 1996年制作	いつも一人ぼっちで、学校では口をきかない幸子は、ある日、加藤先生の机の上にそっと手紙を置いた。幸子のことを気にしていた先生は、彼女が小学生時代からのいじめによって言葉を奪われたことを知り、その解決のためクラスに加奈子たちに協力を求める……。
113	学習指導要領準拠 クラスメイト	ドラマ (いじめ) 20分 1996年制作	クラスのみみんなを巻き込んだいじめの構図。その中で、自分の考えに沿った行動を取る勇気の大切さを訴える小学生向けの作品です。
114	いじめ ～子供たちを守るために～	ドラマ (いじめ) 60分 1996年制作	この作品は、教育者の方やいじめっ子・いじめられっ子の家族の方々に、いじめの実態を認識していただくとともに言葉の暴力によって、傷つき挫折していく子どもたちの切実な悩みをいかにして早期発見できるか、そのポイントとなる項目を、事例に基づいたドラマ形式で再現・構成したものです。
115	言葉と差別 パートⅢ	スライド形式 23分 1996年制作	私たちは歴史的な背景を忘れ、差別語であることを知らないで使うことがあります。差別をなくすためには、差別語を使う自分の意識を自分自身で点検することが必要です。この作品は、差別的な言葉の「言い換え」問題を深く考察し、差別意識を克服していく目的で作られたスライドをビデオ化したものです。
117	いじめっこザルと正直カニさん	アニメーション (いじめ) 12分 1997年制作	「さるかに合戦」の昔ばなしから「いじめ」という問題を個々で考え、みんなで話し合うための素材として活用できる幼児・低学年向けのアニメーション作品です。
121	私たちと人権 ー赤ちゃんのささやきー	ドラマ 31分 1997年制作	根拠のない風習や慣習にとらわれたり、ホンネとタテマエを使い分けていては人権を守ることはできません。この映画は、私たちの身近な問題を取り上げて人権問題について考えていく作品で、「出あって」「ホンネとタテマエ」「ともに生きる」の三話と構成になっています。

122	おじいちゃんのトマト	アニメーション 39分 1997年制作	貴志の祖父善平は定年退職後、わずかな畑でトマトづくりに精を出していました。夏のある日、畑で倒れてしまい一命は取り留めたものの軽い言語障害と右半身麻痺の後遺症が残ってしまします……。この作品は、高齢者問題や外見の違いから生じるいじめや差別、不登校、命の尊厳などの問題をなげかけます。
127	おじいちゃんの花火	アニメーション 25分 1998年制作	交通事故で両親を失い、自分自身も障がいを持つようになった中学生が、未だ会ったこともない花火職人の祖父に会いにでる冒険と、それを助けるメール友だちや介助犬の活躍を美しい隅田川の花火とともに描いています。中学生とその保護者など多くの方に見ていただきたい作品です。
128	蛍の舞う街で(字幕入り)	アニメーション 42分 1998年制作	二つの家族の交流を中心に、私たちが日常生活の中でごく当たり前のこと、常識だと思っていることの中にも様々な人権問題が潜んでいることやお互いを尊重していくための自立と共生、家族のきずな、地域社会の連帯等の問題をなげかける作品です。
138	友情 ～フレンドシップ～	ドラマ 103分 1998年制作	白血病に冒されながらも健気に日々を生きようとする少女あゆみをヒロインに、14歳という多感な時期の少年少女たちを、そして周囲の人々の愛と善意を深い感動と共感をもって描きあげた、実話から生まれた作品です。
147	私自身を見てください (固定観念・ステレオタイプ)	ドラマ 27分 2001年制作	私たちの暮らしの中にある身近な固定観念・ステレオタイプ、偏見をドラマと解説の2部構成で問題提起しています。人権研修・ワークショップでの活用に最適な新しいタイプの教材です。
149	人権ってなあに 6 いきいき生きる ～子どもの権利とエンパワメント～ (子ども篇)	ドキュメンタリー (子どもの問題) 35分 2001年制作	川崎市や大阪市など、各地で子どもたちが自立に向けいきいきと活動している姿を追い、虐待やいじめ、性的搾取などの問題にも触れ、本当の意味でのエンパワメントのあり方を探る作品です。
150	現代社会と人権シリーズ ハンセン病 剥奪された人権	ドキュメンタリー (ハンセン病) 25分 2002年制作	この作品は、現在も国立のハンセン病療養所に暮らす人々、院長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況を描きます。そして、現在に生きる私たちが、今、考えなければならない人権意識を問います。
154	もう一人の私 (個人情報保護)	ドラマ 27分 2002年制作	現代社会においてますます重要性をおびてきたプライバシーの問題、個人情報保護をテーマに私たちの人権について学ぶ作品で、ドラマ部で問題提起をし、解説部でCGと資料を使って解説した分かりやすい2部構成になっています。
155	「私」のない私 ～同調と傍観～	ドラマ 30分 2003年制作	人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説部の2部構成で問題提起をしています。人権研修やワークショップでの活用に最適な、新しいタイプの教材です。

157	新しい風	ドラマ 30分 2003年制作	振興住宅に住む夫婦が、仕事や地域活動を通じて、児童虐待やドメスティックバイオレンスの問題とかかわるうち、ともすれば軽視しがちな「家庭内の人権」について考えていきます。
159	私たちと人権 子育て編 ～愛ちゃんのつぶやき～	ドラマ 32分 2004年制作	「子育て」は「親育ち」ともいわれます。子どもの成長に合わせて親自身も人間的に成長しなくてはいけないからです。この映画では共稼ぎ夫婦が子育てをする過程で、職場や家庭などに見られる人権に関わる問題を取上げ、私たちの人権意識について問題提起します。
160	そっとしておけば・・・ ～寝た子を起すな という考え方～	ドラマ 36分 2004年制作	「そっとしておけば自然と差別がなくなる」という考え方は、根強く存在しています。部落問題の解決にとって、古くて新しい課題です。寝た子を起すなという考え方を、ドラマと解説部の2部構成で問題提起しています。考えること、話し合うことを大切にしたい人権研修やワークショップでの活用に最適な、新しいタイプの教材です。
162	人権に向き合うための6つの 素材～街に、暮らしに、あなたの となりに～（字幕スーパー入 り）	ドラマ 27分 2003年制作	何か問題があった時に初めてでてくる「人権」ではなく、日頃から行動していく時の基準として、人権を意識していくことが大切です。誰の生活の中にも人権があることを考えて行く作品です。
172	防ごう！ パワー・ハラスメント （字幕スーパー入り）	ドラマ （パワー・ハラスメント） 20分 2006年制作	現在、企業内の人間関係は、終身雇用の崩壊や職場環境の多様化により、以前にもまして一段と難しくなっています。そんな中、人間関係のもつれから陰湿ないじめへと発展するケースとして、最近注目を集めているのが、パワー・ハラスメントです。 このビデオでは、パワハラとは何か？パワハラを防ぐためにはどうしたらいいのか考える作品で、ドラマのところを解説とともに振り返り、どこに問題があったのかを検証していきます。
174	CSRって何ですか？ （字幕スーパー入り）	ドキュメンタリー （企業の社会的責任） 24分 2007年制作	CSRという言葉に初めて接する人を対象にした研修用ビデオです。企業で行われているCSR活動の実際の事例と担当者のインタビューを通し、CSRとは何なのかを分かりやすく解説します。
176	パワー・ハラスメントと人権 ー見直そう、職場と家庭 の人間関係ー	ドラマ 43分 2008年制作	経済構造の変化によりストレスや葛藤を抱え、余裕のない職場。人々の余裕のなさや傷ついた感情は、職場や家庭で自分より弱いと認定した誰かに対する攻撃へと、そのはけ口を求めます。この作品は、職場において行われる精神的な暴力であるパワー・ハラスメントを、家族との関係やその影響も含めて、被害者と加害者双方の視点から描いた、これまでにない研修用ビデオです。

177	いのち輝くとき	ドラマ (子どもの虐待) 30分 2001年制作 (DVD作品)	ある中都市のマンションに隣接した畑。ここは「ふれあい菜園」と名付けられ、自治会長の健吉や新次郎、ハツたち高齢者が中心となってマンションの住人たちが野菜や花を育てている。健吉は、引っ越してきた久美にも「ふれあい菜園」に参加してもらおうと久美の家を訪ねるが、断られる。そこにいた久美の息子・昇は何もしやべらず元気がなく、何かに怯えているように見えた……。 お年寄りの温かい思いやりと励ましで子どもを虐待していた若い夫婦が立ち直っていく様子を描いた作品です。
181	親愛なる、あなたへ	ドラマ 37分 2008年制作	現在、核家族化が進行し、地域社会における人々の結びつきが弱まっています。無関心、無理解という冷たい壁を破って、温かい見守りと相互支援を進めることが大切です。 地域に関わるすべての人が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らしづくりを実践する地域社会を創造していくためのドラマです。
182	いわたくんちの おばあちゃん	アニメーション (反戦・平和) 20分 2009年制作 (DVD作品)	昭和20年8月の広島で起こった実話をもとに作製されたアニメーションです。 小学生の寛太は、友だちのおばあちゃん(ちづこさん)の話を聞くうちに、原爆のことや戦争のことを自分の問題としてとらえ、平和への決意をしていきます。
183	知っていますか 薬物の真実	ドキュメンタリー (ドラッグ問題) 21分 2010年制作 (DVD作品)	近年、有名大学での大麻汚染や芸能人の薬物乱用が相次いでいます。薬物問題は、もはや特別なことではなく、より身近な問題へとシフトし、事態は深刻化しています。 この映画は、薬物体験者自身の強い説得力を持つ言葉で「薬物の真実」、つまり、「薬物の本当の怖さ」を伝える作品です。
184	おこりじぞう	アニメーション (反戦・平和) 28分 2002年制作 (DVD作品)	山口勇子原作「おこりじぞう」の人形アニメーション。 昭和20年8月6日広島に投下された原爆で亡くなった少女とおじぞうさんの物語を通して、核兵器の恐ろしさと平和の尊さを描きます。
185	太陽をなくした日	アニメーション (反戦・平和) 20分 2002年制作 (DVD作品)	原爆投下前の広島は、どんな街だったのでしょうか？ そしてあの日、広島から何が消されたのでしょうか？ 戦争は、人々から何を奪ってゆくのでしょうか？ 大切なのはわかっているけど、戦争と平和について考えるのは苦手！そんな人にこそ出会ってほしい作品です。

186	誇り	ドラマ (イジメ・風評問題) 30分 2013年制作 (DVD作品)	津波と震災。そして更に原発事故と風評被害が福島県を襲いました。この作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに差別やいじめを考えます。
187	職場の日常から考える パワーハラスメント	ドラマ (ハラスメント問題) 28分 2012年制作 (DVD作品)	「職場のパワーハラスメント」の問題が深刻化しています。しかしパワハラかどうかの線引きがむずかしいのも事実です。 この作品は、様々な事例をあげてパワハラをどうしたらなくせるのかを考えます。
190	なら人権スポット探訪	歴史教材 その他の人権問題 (40分) 2002年製作 (VHS・DVD 作品)	世界遺産のあるまち奈良の歴史にスポットをあて、そこで生きてきた人々の跡を訪ね、改めて命の大切さや人間の尊さを守るために注がれた情熱や努力の結晶を、今を生きる私たちが、歴史を振り返るなかから、ふれあい、そして学びあい、人権について一層の理解を深めていただきたいと思います。
191	てんいち先生と人権ゆかりの地を訪ねて ～御所市・五條市・吉野郡編～	歴史教材 その他の人権問題 (VHS 作品)	企画：奈良県広報広聴課
192	てんいち先生と人権ゆかりの地を訪ねて ～大和郡山市・天理市・生駒市・生駒郡編～	歴史教材 その他の人権問題 (29分) 2007年製作 (DVD 作品)	企画：奈良県広報広聴課
193	てんいち先生と人権ゆかりの地を訪ねて ～橿原市・桜井市・磯城郡・高市郡編～	歴史教材 その他の人権問題 (29分) 2007年製作 (DVD 作品)	企画：奈良県広報広聴課
194	てんいち先生と人権ゆかりの地を訪ねて ～大和高田市・香芝市・葛城市・北葛城郡編～	歴史教材 その他の人権問題 (29分) 2006年製作 (DVD 作品)	企画：奈良県広報広聴課

195	あなたがあなたらしく生きるために	ドラマ等 その他の人権問題 (30分) 2014年製作 (DVD 作品)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 性的マイノリティとは(解説) 2. ドラマ「トランスジェンダーの中学生 陽菜の場合」 3. 性的マイノリティが置かれた現状(解説) 4. ドラマ「同性愛の会社員 雄輔の場合」 5. 誰もがいきいきと暮らせる社会(解説)
196	めぐみ	アニメ その他の人権問題 (25分) 2008年製作 (DVD 作品)	<p>昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。</p>
197	拉致 ～許されざる行為～	ドキュメンタリー その他の人権問題 (20分) 2007年製作 (DVD 作品)	<p>拉致問題対策本部が啓発活動の一環として制作したものです。拉致被害者家族会の活動や拉致問題の解決に向けた日本政府の取り組みなどをわかりやすく解説しています。</p>
204	ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～／家族で考えるハンセン病	ドラマ等 その他の人権問題 (56分・20分) 2015年製作 (DVD 作品)	<p><人権教育・啓発担当者向け 56分> ～過去からの証言、未来への提言～ ・ハンセン病とは ・強制隔離政策 ・らい予防法の廃止 ・ハンセン病問題の今 ・人権尊重社会へ向けて</p> <p><一般向け 20分> ～家族で考えるハンセン病～ ・ドラマ ・その他解説</p>
208	インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために	ドラマ 30分 2016年制作 (DVD 作品)	<p>インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものになっています。しかし一方で、インターネット上の人権やプライバシーの侵害につながる行為は後を絶たず、近年特にネットいじめや子どもたちをターゲットとした犯罪が大きな社会問題となっています。また、インターネットに関する知識や意識が十分でない中学生や高校生は、被害者になるだけでなく、意図せず加害者になることも少なくありません。</p> <p>中高生やその保護者、教職員を対象にインターネットを利用する上での危険性や安全な利用法・対策についてわかりやすくまとめました。</p>